

令和3年度(2021年度)

管理事業名	北大阪健康医療都市推進事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康・医療のまちづくり 施策 2 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進		
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1	保健衛生総務費
部局名	健康医療部、土木部	予算執行所属		健康まちづくり室、地域整備推進室			
予算大事業名	北大阪健康医療都市推進事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)都市計画費(目)北大阪健康医療都市整備費 北大阪健康医療都市推進事業				
事業の目的と概要 【目的】北大阪健康医療都市(健都)を新たな都市拠点とするため、施設を整備するとともに、健康・医療のまちづくり基本方針等に沿った医療クラスターの形成を目指します。また、健都内外の産学官民の共創により、新たなヘルスケア産業の創出と市民の健康にかかる行動変容の好循環を生み出します。 【概要】北大阪健康医療都市推進、健都ウェルネス住宅推進、健都レールサイド公園及び健都ライブラリー管理(指定管理者施設管理)、産学官民連携プラットフォーム構築							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
指定管理者による講座、プログラム等の年間実施回数	回	-	221	1,097	健都レールサイド公園及び吹田市立健都ライブラリーの指定管理者による講座、プログラム等の年間実施回数
健都イノベーションパーク進出率	%	60	71	71	健都イノベーションパークの面積における企業等の面積占有率
成果の説明	健都レールサイド公園及び吹田市立健都ライブラリーの指定管理者制度は令和2年4月より開始しました(吹田市立健都ライブラリーの閉館は令和2年11月)。1097回の内訳は、健康増進事業574回、利用促進事業227回、自主事業296回です。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により講座等を多数中止しました。令和3年度は一部の講座等は中止しましたが、概ね実施することができました。 イノベーションパーク進出企業の誘致に向け金融機関、ゼネコン、デベロッパー等に企業動向等についてのヒアリングを行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
経常収入	-	15,808	25,781	9,973
寄附金	-	-	44,755	44,755
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,776	323	4,934	4,611
経常収入 小計(a)	1,776	16,131	75,470	59,339
給与関係費	81,830	68,630	49,149	△19,481
物件費	15,819	35,946	48,272	12,326
維持補修費	3,228	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	58	76	-	△76
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	162	-	△162
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,312	6,836	3,477	△3,359
退職手当引当金繰入額	△8,918	△7,268	△14,648	△7,379
支払利息	2,939	3,614	3,199	△414
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	102,268	107,995	89,450	△18,545
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△100,492	△91,864	△13,980	77,884
特別収入	-	216,920	-	△216,920
その他	-	162	-	△162
特別収入 小計(d)	-	217,082	-	△217,082
特別費用	-	-	-	-
その他	-	8,766	-	△8,766
特別支出 小計(e)	-	8,766	-	△8,766
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	208,317	-	△208,317
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△100,492	116,453	△13,980	△130,433
一般財源充当額	345,363	△82,548	286,281	368,830
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	244,872	33,905	272,301	238,397

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
財産収入	アライアンス棟工事現場事務所土地貸付金による4,275千円の増
寄附金	ふるさと寄附金(指定寄附)による44,755千円の増
物件費	北大阪健康医療都市産学官民連携プラットフォーム構築支援業務による8,910千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,776	16,131	75,470	59,339
行政サービス活動支出	118,799	121,121	110,697	△10,424
行政サービス活動収支差額	△117,023	△104,990	△35,227	69,763
投資活動収入	-	436,000	-	△436,000
投資活動支出	-	8,766	-	△8,766
投資活動収支差額	-	427,234	-	△427,234
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	228,340	239,696	251,055	11,359
財務活動収支差額	△228,340	△239,696	△251,055	△11,359
収支差額 合計	△345,363	82,548	△286,281	△368,830
一般財源充当額	345,363	△82,548	286,281	368,830
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	令和2年度健都イノベーションパークの土地売却による投資活動収入 436,000千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人当たりのコスト	令和元年度	373,978 人	273 円	市民1人当たり157円のコストがかかっています。 ※令和4年3月31日現在の吹田市の人口で算出しています。
	令和2年度	376,944 人	287 円	
	令和3年度	378,781 人	157 円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	257,891	254,588	△3,304
未収金	-	-	-	地方債	64,642	64,884	241
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	6,836	3,477	△3,359
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	186,412	186,227	△185
事業用資産	1,619,011	1,619,011	-	固定負債	1,301,963	1,032,966	△268,998
有形固定資産	1,619,011	1,619,011	-	地方債	501,860	436,976	△64,884
土地	1,619,011	1,619,011	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	56,309	38,421	△17,887
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	743,795	557,568	△186,227
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	1,559,855	1,287,553	△272,301
固定資産	-	-	-	純資産	59,156	331,458	272,301
インフラ資産	-	-	-				
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,619,011	1,619,011	-	負債及び純資産の部合計	1,619,011	1,619,011	-

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

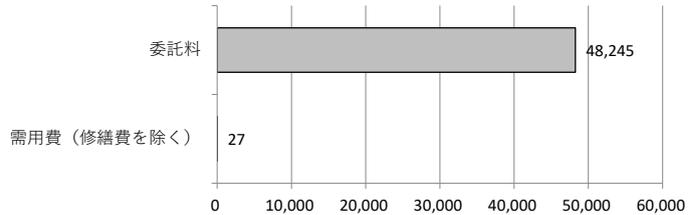
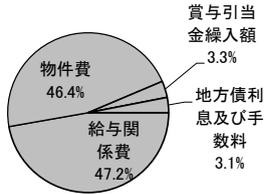
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	6,625 人			
給与関係費等	37,978 千円			37,978
内、時間外勤務手当	1,615 千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	令和3年度は土地売却がなかったことから変動なし

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.5	△ 22.3	79.1	101.4

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

健都イノベーションパークNKビル(アライアンス棟)が竣工するなど、医療クラスターの形成に向けてハード面での進捗が見られ、健都全体においても多くの産学官民のプレーヤーが進出してきています。その中で産学官民の連携を進めるため、健都におけるプラットフォーム構築支援業務委託を行ったこともあり、物件費が増加しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

- ・健都イノベーションパークの残画地について、引き続き誘致に向けた検討を進めること。
- ・産学官民が連携し、新たなヘルスケア産業の創出と市民の健康にかかる行動変容の好循環を生み出すこと。